

【練習メニュー6】

●「パターは5歩と10歩の距離から打つ」

パッティングの自分の距離を把握します。どのグリーンでも歩測をし、自分の5歩と10歩の距離を基準に距離の調節をしていくとパッティングはぐっと安定します。ただ自分の5歩と10歩の距離をグリーンの芝目やアンジュレーションに合わせて調整する練習をしっかりとやっている方はほとんどいないのが現実です。まずはちょうど自分の5歩と10歩の距離になっている時に確実にピンに寄せられるようになってください。それを極めることで他の距離の精度も上がるのです。ティーショットのナイスショットも3ヤードのパッティングも同じ1打です。

【練習方法】

グリーンに乗ったらピックアップして、自分の歩測のピンから5歩の距離、10歩の距離の近い方にボールを置き、毎回5歩と10歩の距離から打ちます。

■ 5歩の距離



■ 10歩の距離



【ポイント】

スタンスを肩幅ぐらいに広げて、つま先からつま先までストロークすると5歩の距離
その倍の幅をストロークすると10歩の距離を打つことができます。